

ハンディタイプ3Dスキャナー（非接触式3次元測定機） ～大きな文化財や美術品も測れます～

ハンディタイプ3Dスキャナー
商品名：HandySCAN 700
【CREAFORM Inc.】

近年の3Dレーザースキャナーの登場で3Dデジタル計測が可能になり、正確に形状を把握することができるようになりました。京都市産技研では非接触式3Dレーザースキャナーとして「KONICA MINOLTA RANGE5」（据え置き型）に加え、「HandySCAN 700」（ハンディタイプ）を導入しました。

「HandySCAN 700」は操作性の高いハンディタイプであるものの、精度が最大0.030mm、解像度が最大0.050mmと再現性が高く、従来は難しかった狭小部分の詳細な測定ができるようになりました。また、機器を動かしてスキャンできるため、測定対象物の裏側や内側も容易に測定することができます。また、測定中のスキャンデータがリアルタイムかつ高速でコンピュータ画面に映し出され、未取得部分のデータの確認がしやすく、作業を効率的に進めることができます。測定方式はレーザー光反射を利用する「レーザー光切断式（三角測量）」です。そのため、「透明」「黒色」「金属光沢」などのレーザー光の反射が得にくいものについては、測定前にパウダースプレーなどの処理をする必要があります。また、測定の際には、対象物にポジショニングマーカーを付けますが、それができない場合には設置台やその周囲にポジショニングマーカーを付けることで対応できます。



スキャナー外観

3Dスキャナーで測定することで、手作りである工芸品や歴史的価値のある文化財等のような設計図面が存在しないものの正確な形状把握ができます。スキャンしたデータは、機械加工用データ作成、デジタルモックアップ、ラピットプロトタイピング（3Dプリンタで出力）に利用され、リバースエンジニアリング全般に応用できます。

京都市産技研では、工業分野、伝統工芸分野をはじめ、文化財や美術品の修復・復元に3Dスキャナーを活用しています。

機器の仕様と特徴（メーカー発表値）

- 重 さ：0.85kg
- 寸 法：122×77×294mm
- 1 スキャン範囲：275×250mm
- 解像度：0.050mm
- 精 度：最大0.030mm
- パ ーツサイズ範囲(推奨)：0.1～4m
- スキャン速度：480,000測定値/秒
- 出力形式：.dae, .fbx, .ma, .obj, .ply, .stl, .txt, .wrl, .x3d, .x3dz, .zpr

担 当：デザインチーム

創業 事業承継

のご相談は京信へ

京都信用金庫

創業専用ホットライン

☎0120-279-642（平日9:00～17:00）

京都信用金庫 創業
@kyotoshinkin.entre